



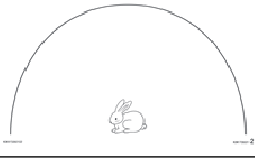
3歳児クラス 6月 第1回 「はっばのおうち」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

読み方	<ul style="list-style-type: none"> 「ぼつん、ぼつん」「がさごそ」など、擬音をたくさん取り入れてお話を進めていく。 だんだんと虫のお友だちが増える場面では、虫を登場させる前に一部分を見せたり、音（「ヒラヒラ」「ブーン」など）を表現して、想像力を膨らませる。 	教材	
	<ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット) ペープサート (女の子・雨つぶ) 	保育士の役割	
導入	<ul style="list-style-type: none"> 講：女の子のペープサート持って登場。女の子と会話を楽しむ。例「こんにちは」「名前はさちよ」「お散歩に行くの！」 保：雨つぶを子どもたちの頭の上などに「ぼつん」と落とす演出。 講：「あらー雨かなー。お散歩大丈夫？」「気を付けてねー。いってらっしゃい」などとコミュニケーションを図ってからお話を始める。 	<ul style="list-style-type: none"> 雨つぶのペープサートを持って子どもたちの頭に降らせる 	

がくしゅうタイム

活動①	巧緻性	指先で折り紙をちぎりのりで貼ることができる	
設定	折り紙をちぎって、はっばのお家を作りましょう。ちぎった折り紙をのりでプリントに貼りましょう。		
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 講：「はっばのおうち、虫さんいっぱい来て楽しそうだったねー」 保：「はっばのお家どこかに飛んで行っちゃった…うさぎさん濡れちゃう、困ったな、どうしよう」とプリント提示。 		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：プリント受け取り「どうしたらいい？」と子どもたちに問いかけ意見を聞く。「よし。先生作ってみるね」と折り紙提示。大きいままプリントに乗せ「このままだと大きすぎるね」と確認。 見本行動①指先使って折り紙をちぎる。 →この時両手を前後ひねる様に動かす様子を強調して見せる。キーワード「小さくびり」。ちぎった折り紙は皿に集める。 ②プリントの線のにりを塗る。 →指のりの匂いや「きもちいいい！」と言った感触の感覚行動を行い、キーワード「(人差し指の先に) ちょっとつけて、線の上をきゅー」を繰り返し塗っていく。 ③のりの上に「はっばのおうちべったんこ」と折り紙を貼っていく。 ④おしぼりで手を拭く(生活力の一つとしてしっかり見せる) 		保育士の役割
	<ul style="list-style-type: none"> 今回はちぎった折り紙に1枚ずつのりをつけてプリントに貼る方法よりも、プリントのにりをつけてちぎった折り紙をぺたぺたと貼っていく方法の方がやりやすいことを伝える。 保：「まだこんなにたくさん…」と配布プリント提示。 講：「大丈夫！みんなで作ってあげよう！」「作りたい人！」と問いかける。 保：折り紙・皿・のり・プリント・のり用お手拭を順次配布していく。 ちぎる大きさが大きすぎたり小さすぎたりした場合は「このくらい」と具体的な大きさを見せる。2色合わせて折り紙1枚程度の量で貼れる大きさです。ある程度切れたところで貼り始め、残った折り紙は速やかに回収する。 指につけるのりの量は様子を見て個別に指導。慣れるまでは多少楽しんで付けすぎても多めに見守る。 時間差が生じやすい活動です。状況見て保育士がフォローに入る。また早くできた子には「虫さん遊びに来るかな？書いてあげよう」とクレヨンを配布する。 状況見て全員が貼れたところで「雨が降ってきたよ。♪ポツポツ…♪ザーザー…」とタッピング等発展させても良い。 最後みんなで見せっこ。「うさぎさん雨が降っても大丈夫良かったね」と賞賛。のりが乾くように壁に貼る等してプリント回収。 		<ul style="list-style-type: none"> ★のり用お手拭 ★指のり ★クレヨン

活動②		生活	おしぼりを使って机の上を拭くことができる	
設問	台拭きでテーブルをきれいに拭きましょう			なし
設問	<ul style="list-style-type: none"> 講：「はっぱのおうち頑張って作ったら机がべたべた…このままで良い？」問い掛ける 			教材 ・紙おしぼり一人一本
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・どうしたら良いか問いかけ子どもたちのことばを受け止める。 ・講：見本行動。①おしぼりの袋を開ける（ごみはゴミ箱）②おしぼりを平たく開き手の平に合う大きさにたたむ ③手の平をのせ大きく腕を動かして机を拭く。 ・講：「机拭くのみんなもお手伝いできる？」 ・保：「みんなの分もありますよ」と配布。 ・「きゅっきゅ」「ごしごし」「ぴかぴか」「綺麗になーれ」と自分たちが使う机を綺麗にするという意識を持って腕を大きく動かし拭いていく。 ・講：「どう？綺麗になった？」「綺麗になると気持ちいいねー」と達成感を持って終了。 			保育士の役割 ・おしぼり配布 ・袋開け確認 ・拭き方個別指導

数子ヤレ		比較	数の違う2つの皿を比べ多い方がわかる	教材
設問	5：4で多い方を指さしましょう。			おはじき 皿
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・おはじきが5個入った皿と4個入った皿を見比べて多い方をパツと指さし（ただし両方の皿をしっかりと見比べる）「ピンポン！」と正解を賞賛。 ・この活動では数えるより量感覚を鍛えることが大切。一回でわからない子には「残念こっちでした」と正解を伝えてから何度かチャレンジさせる。 			保育士の役割 二つの皿を比較させる